

秘

家

十三

對住民犯ノ原因、態様、防止對策等ニ關シ若干ノ
 考察ヲ加ヘ參考ニ資セントス對住民犯ハ戰地
 住民ニ對スル掠奪、強姦、殺傷、恐喝、暴行、住民侵入
 等一切ノ加害行為ヲ指稱スルモ茲ニテハ主ト
 シテ掠奪及強姦ニ付テ述ズベシ

第一 概観

掠奪及強姦ハ外國ニ在リテハ古來戰場ノ習戰
 爭ノ常トシテ極メテ頻繁ニ行ハレ時トシテハ
 戰爭目的ノ一ガ掠奪ニ在リタルコトアリ又掠
 奪強姦ハ將兵ニ對スル論功又ハ報酬トシテ缺
 タベカラザルモノト爲サレ居タリ。
 反之我國ニテハ古來ノ國內戰ニ於テモ對住民
 犯ハ殆ド之ヲ見ズ住民ハ秋毫モ犯スベカラズノ

ト云フコトハ古來武將ノ信條ノ一ナリシナリ、
 之我國武士道ニ基クモノナルモ一面武將ハ各
 種ノ方法ヲ以テ之ガ防止ニカメタル事實ヲ看
 取スルヲ得
 外征ノ役タル日清日露役モ同様ニシテ我が將
 兵ノ嚴正ナル態度ハ戰地住民ハ素ヨリ廣ク世
 ノ讚嘆シタルトコロナリ
 シベリヤ事變濟南事變ヲ經テ滿洲事變モ同様
 ニシテ特ニ滿洲事變ニハ長期ニ亘リ大ナル兵
 カヲ動カシナガテ對住民犯ハ眞ニ寥々タルモ
 ノニテ軍ノ威信ニ暗影ヲ投ズルガ如キコトナ
 カリキ次イテ支那事變ニ至リ我國トシテハ空
 前トモ謂フベキ對住民犯ノ發生ヲ見殊ニ事變
 初期南京陥落迄ノ間ニハ忌ムベキ犯行ガ各所

ニ於テ頻々ト行ハレ軍ノ威信ヲ損ジタルモノ
 アリタルハ遺憾ニ堪ヘズ而モ敵ハ此ノ間勦
 且巧妙ナル悪宣傳誇大宣傳ニ出テ住民ノ對日
 反感ハ逐次ニ深ク且廣ク浸透シ作戰上少カラ
 又不利ヲモ招クニ至レリ
 大東亞戰爭ニ在リテハ各級幹部ノ適切ナル指
 導ト將兵ノ自覺トニ依リ對住民犯ハ比較的少
 數ニシテ殊ニ緬甸ニ於テ最モ少キハ同慶トス
 ルトコ口ナリサレド少數トハ謂ヒナガラ昭和
 十七年度南方軍全軍ニテハ對住民犯ニ依リ刑
 罰ニ處セラレタル者三三〇名内掠奪罪一六八
 名強姦罪一〇七名ヲ數フルコトハ將來ニ備ヘ
 深キ注意ヲ要スルトコ口ナリ
 ソモソモ大東亞戰爭ハ聖戰ニシテ皇軍ノ兵ハ

一人一人が神兵ナリコノ中ニ不心得者アラシク
 カソレガ極メテ例外的ナルニセヨ神兵ノ名ヲ
 汚シ聖戦ノ目的達成ヲ阻害スルコト言フ俟タ
 ス殊ニ現在ノ戦争ニ在リテハ民心ヲ把握スル
 カ否カガ場合ニ依リテハ戦局ノ歸趨ニモ影響
 ヲ及ボスベキ重大ナル意義ヲ有ス故ニ住民ニ
 對スル將兵ノ態度ハ戦闘動作ト共ニ之ヲ重視
 セザルベカラズ緬甸人が皇軍進攻當時ヨリ克
 シ日本軍ヲ信賴シ尊敬シ協力ヲ惜マザル事實
 ハ軍ニドリテ一ノ戦力要素ナリ若シ住民ニ對
 スル態度不適當ナリシナラバコノ戦力要素ハ
 或ハ得ザリシヤモ知レザルナリ
 對住民カ住民ニ及ボス悪影響ノ深刻且廣汎ナ
 ルハ實ニ想像以上ナルモノアリ蓋シ此ノ種犯

行ハ決シテ兵個人對被害者個人ノ關係ニ止ラスシテ必ズヤ部隊對被害者ノ一族郷黨トノ關係停トナリ延イテハ一地方ノ住民全部ノ敵意ヲ買フニ至ルヲ以テナリ

今ヤ軍ハ新ナル作戰ニ出デントスソレガ何方ニ向フニセヨ軍ハ行クトコソ敵ヲ破ルト共ニ民心ヲ把握セサルベカラス而モ今回ノ作戰程民心把握ガ重大ナル意義ヲ有スルコトハ稀ナリ一地方ノ民心ヲ把握スルハ即チ三億民衆ノ民心ヲ把握スル所以ナリ特ニ作戰初期ニ當リテハ慎重ヲ期シ恩威併ビ行ハレ神兵ノ神兵タル所以ヲ知ラシメサルヘカラス

近ク新局面ノ開カレントスルニ當リ特ニ對住民犯ニ關注意ヲ喚起セントスル理由茲ニ存ス

第二 原因

過去ノ實例ニ付テ強姦罪及掠奪罪ノ原因ニ關シニ三所見ヲ述ブ

(一) 強姦罪ノ原因

先づ注目スベキハ止ミ難キ性的欲求ガ其ノ原因動機ヲ爲スル
 コト極メテ稀ナル事實ナリ一應主タル原因ナラント考ヘラルル性
 的欲求ガ然ラサルニトシ其ノ防止對策ヲ講ズルニモ注意ヲ要スル
 點ナリ

一般的原因トシテハ次ノ四ヲ挙グルヲ得ベシ而シテ此ノ原因ハ多ク場合
 相倚リ相俟ハル相乘的ニ爲ク例トス

イ、好奇心 新環境ニ入りマ好奇心ノ起ルハ當然ナリ而シテ好
 奇心ハ他ヨリ挑發サルルコト極メテ多シ性的事項ハ話題
 トナリ易キモノニシテ潤色サレ誇張サレ又ハ根據ナキ想像的ノ
 話柄ガ隊内ニ廣ク傳播シ好奇心ヲ唆ルコト多シカカル關係ニテ
 淫姦罪ハ強キ傳染性ヲ有シ一時ニテ數人ニテ犯スコトアリ又小部
 隊ニテハ其ノ大部分ガ經驗者ナルコトアリ

ロ、注良蔑疎忽念

之ハ此ノ種ノ事ヲ免レザルトコロニシテ將兵ガ住民ニ接スル

トキ優越感ヲ以テスルハ寧口當然ナリサ
 レド優越感ハ住民ニ對スル愛撫指導トナ
 リ發現サルル如ク平素ヨリ教育スルヲ要
 ス戰場ニ於テ避難民等ノ悲惨ナル姿ヲ見
 ルヤ斯クノ如キモノニハ貞操觀念モ羞恥
 ノ念モ無カルベシトノ錯覺ニ陥リ易キモ
 ノナリ

ハ、戰場心理 戰場ニ於テハ明日ヲ知ラレ
 又命ナレバコノ程度ノエトハ容認セラル
 ベシトノ心理ハ各種戰場犯ノ温床ヲ爲ス
 モノナルが強姦ノ原因ヲ爲スコト亦甚カ
 ラズ、小部隊ノ長ニシテ何等部下ノ勞苦ニ
 酬ユベキモノナケレバアル程度ハ娛樂的
 ノ意味ニテ止ムヲ得ズト爲シ默認的態度

二 出づル者兵一般ニ斯ル氣風ヲ生ジタ
 際反感ヲ買ハンコトヲ慮リ追隨放任スル
 者等無キニ非ルモ今ヤ斯ルコトハ絶對ニ
 許サルベキニ非ス
 尚兵ニハ強姦ノ不可ナラシメ知悉シナガラ
 行動中ニハ明日ハ野トナレ山トナレノ心
 理ヨリ犯スモノ稀ナラズ
 二 飲酒、兵犯行ノ約半数ハ飲酒ニ基クモ
 ノニシテ強姦モ醉餘自制心反名心ヲ失ヒ
 タルニ依リ犯サルコト少カラズ
 以上ノ外殊ニ支那ニ於テハ敵意ヲ抱ク住民
 二 對スル制裁又ハ復讐ノ念ヨリ犯サル事
 例アリタリ
 南方ニテハ又其ノ開放的生活様式ヨリ婦人

(二)

寝姿や裸體ヲ見テ刺激ヲ受ケタルニ依ル
 事例屢々アリ、
 掠奪罪ノ原因
 過去ノ事例ニ付テ見ルハ遊興費等ニ窮シ現
 金ヲ掠取スル者大部分ナリシモ軍ノ豫想戦
 場ニ於テハ斯ルニシテハ寧ろ稀ナルベシ近時
 同様ノ環境下ニ在ル他部隊ニ付キ其ノ原因
 ヲ見ルニ概ネ次ノ如シ
 イ、徴發行爲トノ混同・徴發又ハ之ニ準ス
 ル行爲ガ無統制無監督ニ實施サルル結果
 兵ノ反省心鈍磨シ初メ輕易ナル物ヨリ逐
 次貴重品ヲ掠取スルニ至ル
 徴發行爲ハ兵威ヲ以テ住民ニ接觸シ其ノ
 財物ニ對シ一定ノ處置ヲ爲スモノナルヲ

以元兵ニトリテハ大ナル誘惑ノ機會タリ、
 口 入手困難ナル物資ニ對スル欲望、貪欲
 念ニ基クニハ非ルモ時計、寫真機、眼鏡
 等入手困難ナル品ヲ認メ之ヲ欲スルノ餘
 掠取スルコトアリ、
 ハ 好奇心、單純ナル物珍シサヨリ裝身具
 骨董品等ヲ掠取スルコトアルモ之等ハ被
 害者ニ於テ貴重視シ在ルコト少カラズ、
 二 懲戒、住民ガ協力ヲ惜ミ或ハ物資ヲ隱
 匿シタリトテ貴重品ヲ掠取スルコトアリ
 又一種ノ正義感ヨリ賭博者ノ賭金阿片等
 ヲ取上ゲ住民ガ敵産ヲ私シタリトテ他ノ
 物マデ取上ガル等ノ事例少カラズ、
 ホ 内地歸還ヲ豫期シ其ノ準備又ハ土産品

ヲ得ントスルコト
以上諸原因が綜合的ニ働キ之ニ強姦ノ原因
トシテ前述シタル戰場心理が加ハリ掠奪ヲ
犯スニ至ルヲ例トス

第三 態様

實例ヨリ強姦罪及掠奪罪が如何ナル態様形式
ニテ犯サルルコト多キカラ觀察セントス

(一) 強姦罪ノ態様

イ、暴力又ハ直接ノ脅迫ヲ用ヒルコト極メ
テ稀ニシテ大部分ハ相手方が兵威ニ懼伏
シ無抵抗状態ナルニ乘ジテ犯スモノニ係
ル住民ハ武装セシ兵ニ對シテハ著シキ恐
怖ノ念ヲ抱キ如何ナル要求モ拒ミ得サル
ヲ例トス進撃中ノ兵ニ對シテハ特ニ然リハ

中ニハ兵ノ姿ヲ認ムルヤ積極的ナル要求
 ニ先ンジ服従ノ態度ヲ示スモノアリ
 尙兵ハ若干ノ金ヲ與ヘサヘスレバ責ヲ免
 レ得ルモノト誤解シ居ルコトアリ人妻ヲ
 犯シ未婚女ニ暴行ヲ加ヘテカラ退去ニ際
 シ強ヒテ小額ノ金ヲ受取ラシメ對價ヲ與
 ヘタルコトナレバ問題ト為ルコトナント
 信ジ居タル事例少カラズ
 只物資調達検査等ノ夕メ民家ニ立入り夕
 ル機會又ハ偵察巡察分哨等ノ勤務ニ從事
 中犯スコト大半ヲ占ム兵ガ單身又ハ小入
 數ニテ住民ニ接觸スルニ際シテハ特ニ注
 意ヲ要スル所以ナリ
 同行者數名ガ群眾心理ヨリ同一機會ニ

同一婦女又ハ數名ニ對シ犯スコト少カラ
 ス斯クノ如キハ殆ド公然行爲ナルヲ以テ
 其ノ惡影響特ニ大ナリ
 二、酒氣ニ驅ラレ無用ニ民家ニ立入り又ハ
 慰安婦私娼等ヲ求メテ徘徊中偶々目撃シ
 タル婦女ヲ犯スモノ少カラズ
 ホ、婦女が兵ヲ認メテ逃ゲ又ハ身ヲ潛ムル
 ヤ強姦ノ意思ハ無キモ反射的ニ之ヲ追掛
 ケ又ハ搜索スル内ニ欲望ヲ生ズルコト稀
 ナラズ
 ヘ、強姦被害者ノ決シテ美シキ婦女ニ
 非ズ醜婦不潔ナル者幼女老嫗等ヲ網羅ス
 ト、強姦ハ駐留中ニ多ク作戦中又ハ進撃中
 少キモノト解シ居ルハ必ズモ當ラズ支心

(二)

那ニ於ケル實例ニ依レバ住民避難シアラ
 カル地域ヲ進攻中最モ多發シタリ
 夫ノ面前ニテ妻ヲ犯シ母ト娘トヲ同時
 ニ犯シ病氣ニテ起居不自由ナル者ヲ犯シ
 尼僧等宗教的關係ヨリ住民ノ尊敬ヲ受ケ
 居ル者ヲ犯シタル事例乏シカラズ之等ハ
 悪影響特大ナリ
 掠奪罪ノ態様
 前述強姦罪ニ於ケルト同様住民ノ無抵抗
 抗状態ニ乗ジテ爲サルコト殆ド全部ヲ
 占ム時トシテ住民ハ恐怖ノ餘又ハ他ノ貴重
 品ヲ守ル爲或ハ身體貞操等ニ對スル害
 ヲ免レントシテ一見自發的ニ金品ヲ呈出
 スルコトアリ

1613

又若干ノ對價ヲ與フルモソレカ適當ノ額
 =シテ相手方ガ満足セザル限り罪責ヲ免
 レズ完全ナル時計ヲ強ヒテ取上ゲ修理不
 可能ナル破損時計ヲ與ヘ掠奪ニ非ザル旨
 ノ辯解手段ヲ作為セントシタル事例アリ
 モ斯ル所為ハ狡猾ニシテ却テ情狀重シ
 口 徴發物資調達ハ掠奪ノ最モ多ク行ハル
 ル 機會ナリ巡察檢問分哨等ノ勤務ニ服ス
 ルトキ犯サルルコト亦多シ
 ハ 通敵容疑者、經濟統制違反者等ノ弱點ニ
 乗ズルコトノ事例乏シカラス、通譯密偵
 等ニ關シテハ特ニ注意ヲ要ス
 ニ 住民避難シテ監守者ナキ家屋ニ在ルモ
 ノヲ大ナル必要ナキニ拘ラズ何トナク掠奪

取スルコト少カラズ之自分ガ取テザルモ
 他ノ何人カカ取ルニ違ヒナシトノ心理ニ
 出ヅルモノナルモ軍ノ威信ヲ損スルコト
 大ナルモノアリ
 ホ 群衆心理ヨリ數名同時ニ犯スユト多シ
 傳染性アルコト強姦ト同様ナリ
 ヘ 言語ノ不通ヨリ他ノ用務ニテ來リタル
 兵ヲ掠奪ニ來リタルモノト誤解シ住民ヨ
 リ全品ヲ呈出スルコトアリ
 ト 商人ニ商品ノ原價販賣ヲ強要シ結局原
 價ヨリ遙カニ少キ價格ニテ入手スルコト
 アルモ之亦掠奪ヲ以テ問ハルルコトアル
 ベシ
 子 掠奪ノ對象物ハ駐留中ハ現金ヲ主トス

ルモ進撃時ハ装身具時計金屬貨幣貴金屬
等ヲ主トス

第四 防止對策

軍法會議ニ於テ直接干與シタル事例ヨリ綜合
シテ參考ノ爲防止對策ニ關スル所見ヲ述ブ

一、教育ノ徹底

對住民犯ノ大部分ハ教育ノ徹底ニ依リ防止
シ得ベキモノト信ズ蓋シ犯行者ノ大半ハ前
述ノ如ク内心ヨリノ強キ欲求アルニ非ズシ
テ結果ノ重大深刻ナルニ思ハ致スユトナク
無反省無自覺ニ犯スモノニ係ルヲ以テナリ
軍法會議ニ於ケル審理ニ當リテハ其ノ殆ド
全部ニ亘リ教育ノ不徹底ナルヲ痛感スルヲ
例トス對住民犯人殊ニ婦女犯人ハ刑務所ニ

於ケル行刑成績良好ニシテ刑期終了前ニ假
 出獄ノ恩典ニ浴スル比率最高ヲ占ムル状況
 = 在リ之犯行者ガ素質不良ナルニ非ズ一時
 ノ出來心ヨリ罪ヲ犯シタルヲ物語ルモノナ
 リ
 對住民犯ハ兵某個人ガ住民某個人ニ害ヲ加
 ヘタルニ非ズシテ皇軍ノ一分子ガ住民ノ一
 代表者ヲ侵シタルモノニシテ其ノ影響ノ及
 ブトコ口深ク且廣ク神兵ノ名譽ヲ傷クルコ
 ト之ヨリ大ナルハナク聖戰ノ目的ニ背馳シ
 畢竟スルニ利敵行爲ニ外ナラサル所以ヲ一
 兵ノ末ニ至ルマデ普及徹底セシムルコト極
 メテ肝要ナリ
 尚注意スベキ對住民犯防止ノ主眼ハ人道的

二、
監督

見地ヨリ住民ヲ保護セントスルニ非ズ軍紀
 ヲ其ノ侵害行為ヨリ擁護セントスルニ在ル
 コトナリ對住民犯ノ直接ノ對スハ住民ナル
 モ歸スルトコ口最大最悪ノ害ヲ受クルハ軍
 自體ナリ
 此ノ故ニ掠奪罪ハ豫テヨリ軍紀犯トシテ陸
 軍刑法ニ規定セラレ在リ又強姦罪ハ昨昭和
 十七年普通刑法ヨリ陸軍刑法ニ移シ被害者
 ノ告訴ヲ要セズシテ罰スベキモノト改正セ
 ラレタリ
 駐留期間ニ在リテハ適宜環境ヲ整理スルコ
 トモ防止上重要ナル着意事項ナルモ作戦行
 動中ハ差當リ其ノ必要少キヲ以テ省略ス

19

對住民犯ハ所謂隊外犯ニシテ其ノ監視監督
 ハ特ニ困難ナリサレド教育ハ監督ニ依リ之
 ヲ擴充補強セサレバ其ノ効果ヲ期待シ得ガ
 ルヲ以テ不斷ニ周到且創意アル監督ヲ實施
 セガルベカラス如何ナル方法ニ依ルベキカ
 ハ一ニ部隊ノ實情及環境ノ狀況ニ應ズル各
 級幹部ノ着意ニ俟ソベキモ實例ニ付テ若干
 參考事項ヲ擧ゲン
 イ、分屯又ハ獨立行動ノ小部隊ノ住民ニ對
 スル態度ハ特ニ注意ヲ要ス
 只、對住民犯ハ集團的ニ行ハルルコト多キ
 ハ監督實施上ノ重要着意事項ナリ少シク
 兵ノ言動ニ注意スレバ容易ニ此ノ間ノ消
 息ヲ察知スルコトヲ得ル場合少カラズ之

ニ 反シ兵ノ間ニ於テハ半バ公然ノ秘密ト
 シテ累行サレ居ルヲ幹部が全然知ラザリ
 シ事例アリ
 ハ 部隊内ニ住民婦女等ニ関シ一種淫猥ナ
 ル造言ノ流布サレ居ルコトアリ之ヲ放置
 スレバ強姦罪ノ續發ヲ見ル虞アルヲ以テ
 注意ヲ要ス
 ニ 幹部ノ真意ヲ誤解スルコトアリ例ヘバ
 敵意アル住民ニハ斷乎タル處置ニ出ヅル
 ヲ要スト云フヲ住民ヲ凌虐スルモ可ナリ
 ト爲スガ如シ又幹部ノ諧謔的言動が兵ニ
 對シ計ラサル悪影響ヲ及ボスコトアリ例
 ヘバ住民婦女ニ関シ一時ノ座興ニ言ヒタ
 ルコトヨリ強姦が黙認セラレルモノト誤
 21

解スルガ如シ
 ラハル所以ナリ
 言動ヲ慎マサルベキカ
 22
 六
 徴發物資調達檢索檢問等ハ最モ嚴正確
 實ナラシムルヲ要ス

戰時服務提要草案

徴發隊ノ編成ハ必ず將校ヲ以テ指揮官
 トシ此ノ際特ニ嚴密ナル規則ヲ設ケ且
 至嚴ナル監視ノ下ニ施行スルコト必要
 ナリ然ラザレバ軍紀忽チ紊亂シ終ニ兵
 ヲシテ徴發ト掠奪トノ分界ヲ誤ラシム
 ルニ至ルベシ
 總テ命令ナキ徴發ハ掠奪トス而シテ徴
 發ハ軍用ニ供スルモノニ限ルモノトス
 指揮官ハ以上ノ趣旨ニ基キ教育ヲ徹底

スルコト特ニ緊要ナリ
 一見不正品ナルコト明瞭ナル貴金屬類
 ヲ長期ニ亘リ携行シ在ルニ幹部之ヲ知ラ
 サル事例少カラズ時々私物検査ヲ要ス
 ト、鹵獲品押収品敵産等ノ處置ハ的確且敏
 速ナラサルベカラズ歸屬明確ナラザル物
 ヲ兵ガ所持シ又部隊ニ備付ケ置クハ掠奪
 等ノ誘因ヲ為スコトアリ
 千、酷酖シテ民家附近ヲ徘徊スルハ事ノ如
 何ニ係ラス軍ノ威信ヲ損スルヲ以テ同行
 者ノ連帶責任ヲ以テ禁止スルヲ可トス
 リ、歴戦者特ニ支那事變初期ニ於ケル歴戦
 者ニハ對住民犯ノ經驗ヲ有スル者アリ之
 等ノ者ハ誇張セル經驗談等ニ依リ他兵ニ

又、悪影響ヲ及ボス虞アリ
 又、現地語ヲ解シ好シテ住民ト接觸スル兵
 ノ指導ヲ適切ナラシムルヲ要ス
 此、住民中ニハ他人ニ復讐センカ爲又ハ民事
 紛争等ヲ有利ニ解決センカ爲皇軍將兵ヲ
 利用セントスル者アリ之等ニ誤ラレサル
 如ク指導スルコトハ要ナリ
 又、住民中ノ通譯密偵等ヲ過度ニ信用スル
 ハ不可ナリ
 又、住民ヨリノ被害申告ハ之ヲ阻止スルコ
 トナク進シテ之ヲ聞キ速カニ處置ヲ講ズ
 ルコトハ悪影響ヲ少カラシムル有効ナル
 手段ナリ要スレバ住民中ノ責任者ニ對シ
 被害アラバ遠慮セズ申告スベキ旨申向ク

24

三

ル又可トセン
 カ、憲兵トノ連絡ヲ密ナラシムルヲ要ス
 對住民犯ハ其ノ惡影響少カラサルヲ知リナ
 ガラ犯行者ノ情狀其ノ他ヲ考慮スレバ檢擧
 處罰スルニ忍ビサル感アルコト多シ殊ニ戰
 功アル者ニ付テ然リトスサレド此ノ種犯行
 ハ前述ノ如ク生來的ノ個性又ハ惡素質ニ基
 タコトナク戰場ニ於ケル無反省無自覺ヨリ
 犯サルルコト多ク顯著ナル傳染性ヲ有ス換
 言スレバ同一環境ニ在ル兵ハ全員犯行ニ出
 グル可能性アリト謂フヲ得ベシ從テ小乘的
 愛護心ヨリ微温的遠置ヲ累ヌル内惡風漫延
 シ取返シノ付カヌ狀況ニ立至ル虞アリ此等

25

ノ點ヲ考慮シ萬一犯ス者アリタル際ハ其ノ
 後ノ發生ヲ防止スル爲斷乎處罰スルコト必
 要ナリ作戦開始等ノ新環境ニ入りタル際ハ
 特ニ其ノ初期ニ於テコノ著意必要ナリ之部
 隊全部ニ付テ見レバ結局早期治療ニシテ最
 モ少ナル犠牲ヲ以テ最モ大ナル効果ヲ擧グ
 ル所以ナリ一度悪風ノ生ズルアラシカ後日
 如何ナル處置ヲ講ズルモ犠牲ノ割合ニ効果
 ヲ擧ゲ難キニ至ル泣イテ馬謖ヲ斬ルコトハ
 對住民犯ニ付テ特ニ必要ナリ
 軍法會議ニ於テハ對住民犯ハ其ノ法定刑ノ
 範圍内ニ於テ必ズシモ重刑ヲ要セザルモ洩
 レナク檢舉處罰スベキ方針ナリ
 以上教育ヲ基礎トシ周到ナル指導監督ヲ以テ

之ヲ擴充シ萬一違反者アリタルトキハ直チニ
 斷乎タル處置ニ出ヅルコトニ依リ對住民犯ノ
 發生ハ之ヲ最低限度ニ防止シ得ベキコトヲ信
 ズルモノナリ

27